

相談分科会勉強会について（案）

1 現状

資料 1—5 における設立趣旨に基づき、相談支援専門員に向け、外部講師を招いての研修を適宜行っている。

令和 5 年度においては以下の研修を外部講師を招き行った。

<外部講師による研修実績（令和 5 年 8 月～令和 6 年 7 月）>

① 令和 5 年 9 月 21 日 実施

講義「BCP 策定のポイントについて」

講師：ケアプランサービスけやき

2 成果と課題

くるめ相談ネットでは会員に向けてアンケートを実施したなかで、相談ネットへ参加する目的としては、「ネットワークづくり・情報交換」「専門性のための研修機能」「社会資源の情報収集」というところが多く、専門家からのスーパーバイズを希望している人が多かったことから、外部講師を招いての研修会を企画し、講師謝金と交通費を計上した。

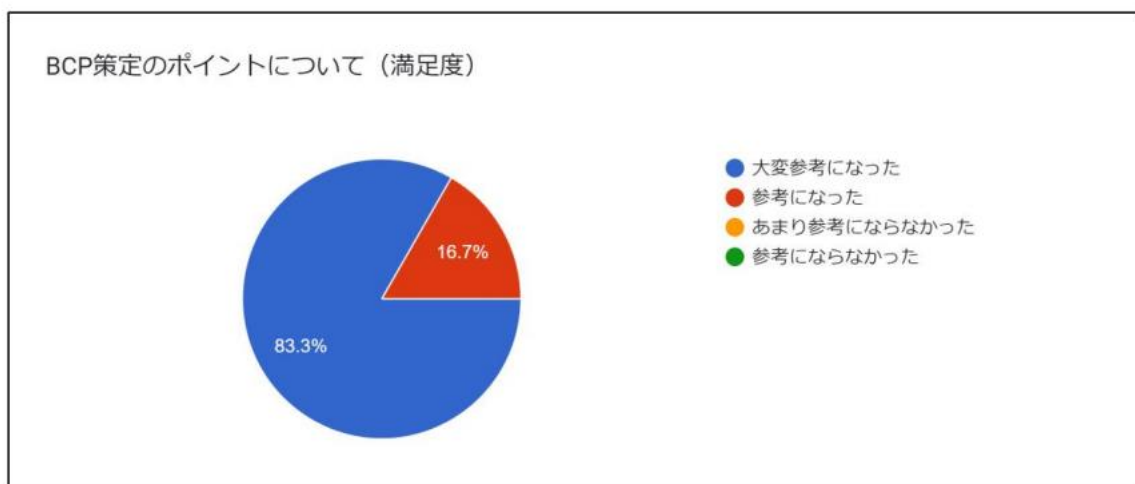
今年度に行った BCP 対策に関しては、情報収集や作成に不安を抱える事業所も参加し学習を行う事ができ、また他事業所との情報交換もグループワークにて実施した。

行った研修の内容に関しては随時会員へのアンケート調査を実施。多くの意見が寄せられたが、「大変参考になった」との意見が多く、充実した内容だったと思われる（下表参照）。

今後の研修の希望として、災害対策・LGBTQ 等の多様性の他、介護保険への移行や成年後見制度等ライフステージに関する内容や、難病についての学習を求める声も挙がっていた。

様々な視点を個々のケース対応に反映できるよう、ひいては地域課題の抽出につなげていけるよう、年間を通しての入念な研修計画の策定が今後にも必要になると思われる。

<参考：令和 5 年 9 月 21 日開催 BCP 策定のポイントについて アンケート調査結果>



3 目的

- (1) 障害児・者に対する支援基盤の整備として相談支援専門員同士の情報交換及び相談支援専門員の資質の向上を図る。
- (2) 学習等を深めていくことで、それまで対応することなどがなかったケース等も引き受けることができるよう相談支援専門員のキャパシティの拡充を狙う。
- (3) 相談支援専門員それぞれが持つ事例等を通して地域に潜んでいる課題等を抽出するとともに制度の整備を検討する。
- (4) 事業所運営のための必須研修に対応できる研修の検討

4 基本方針

サービス等利用計画作成につながる取り組みの一環として、令和 6 年度も引き続き相談支援専門員のニーズに沿ったテーマでの研修会を以下のとおり実施し、相談支援専門員のスキルアップを図っていく。

【令和 6 年度の研修内容】

- ① 意見交換会
- ② 障害種別に応じた事例検討会
- ③ 権利擁護研修・・・当事者分科会との合同研修等
- ④ 勉強会・・・多様性等
- ⑤ 地域課題・・・個別課題の吸い上げ・災害対策等
- ⑥ 事業所運営に関する意見交換・・・BCP 策定等

5 内容 ＜令和 6 年度＞

(1) 外部講師による研修

令和 6 年度の相談ネット外部講師予定

内容	講師	謝金	交通費
上記記載の研修内容から、事務局会議で協議する	未定	21,000 円	3,000 円
	未定	21,000 円	3,000 円
	未定	21,000 円	3,000 円

① 概算見積もり

講師謝金：1 名 90 分 ¥21,000×3 回＝¥63,000

交通費：実費 (往復 ¥3,000 で計上した場合) ¥3,000×3 回＝¥9,000

計 72,000 円

② 講師費用の参考単価（福岡県社会福祉士会）

●大学講師基準（90 分）

¥21,000（教授）

¥18,000（准教授）

¥15,000 以下（講師以下）

●専門講師基準

¥21,000（医師、弁護士など）

¥18,000（社会保険労務士、人材育成コーディネーターなど）

¥15,000（社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士など）

●社会福祉施設・社協等講師基準

¥15,000（施設長、社協事務局長）

¥12,000（指導監督職員、施設管理主任など）

¥12,000 以下（栄養士、調理師、社協職員など）

6 期待される効果

- （１）研修を通じた学びによって、個々のスキルアップや計画の策定における相談支援専門員の質の向上。
- （２）これまで対応したことのない事例等について議論を重ねることによる、相談支援専門員のキャパシティの拡充。
- （３）地域に潜んでいる課題について議論を重ねることによる、必要に応じた施策への提言や、当事者の生活ニーズの充足。

7 スケジュール

- ・企画内容を確認しつつ、講師や詳細な内容については、事務局会議で調整していく。